

目次抜粋

序章	ハイブリディティの時代
第一部	
第1章	漱石の文明観
第2章	漱石的個人主義の問題
第3章	二つの「田舎」
第4章	漱石と帝国主義
第二部	
第9章	明治言説の犠牲者たち
第10章	共謀する表象1
第11章	共謀する表象2



漱石神話の解体！

朴裕河 (パク・ユハ)

■ 1957年、韓国ソウル生まれ。
 現在、韓国・世宗大学日本文学科教授。
 夏目漱石、大江健三郎、柄谷行人作品の韓国語翻訳など、韓国において日本近・現代文学・思想を紹介している。日本語の著書に『反日ナショナリズムを超えて』(河出書房新社)、『和解のために』(平凡社)(大佛次郎論壇賞受賞)がある。

ジェンダーの視点による漱石の根底的な批判を通して、日本近代のナショナル・アイデンティティ形成過程を跡づける第一部と、柳宗悦批判、親日文学の意味、日本文学のなかの在日文学の役割などを論じる第二部で構成される、日本近代への先鋭な考察。

朴裕河著
 ナショナル・アイデンティティ
 とジェンダー 漱石・文学・近代

二〇〇七年七月刊
 四六版ハードカバー・四四〇頁
 定価三二五〇円(税込)
 ISBN978-4-906681-27-3

図書出版クレイン

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-32-9 TEL 0422-28-7780 FAX 0422-28-7781

串	(送+印〇〇〇〇税別)直刷	書店名	注文番号
	<p style="text-align: center;">一〇二五〇 ムチムチムチムチ・ニヤシムチ</p>		